

保証書付

保管用

最大使用者体重
75kg以下

この商品は
座れます

シルバーカー

No.672

ポシェットS-II



この製品は主として自立歩行できる高齢者が、より安定して歩行できるように補助的に使用するものです。ただし、手すり等の固定したものにつかまらなければ歩行できない人や、介助者に手伝ってもらわなければ歩行できない人等には適しません。

使用に適しているか否か不明な場合には、必要に応じて専門家など（福祉用具専門相談員、作業療法士、理学療法士等）に相談し購入されることを勧めます。

取扱説明書



ページ

安全にお使いいただくために	2
各部の名前	4
車体の広げ方	5
折りたたみ方	5
ハンドル高さ調節	6
ブレーキのかけ方	6
キャスターについて	6
仕様	6
座面の使用方法と サイドストッパーのかけ方	7
ブレーキの調整	7
保管のしかた	7
保証書	8
SGマークの被害者	8
救済制度について	

お買い上げいただき、まことに有難うございました。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください

- ご使用前に「安全にお使いいただくために」を必ずお読みください。
- この取扱説明書は、いつでも見ることができる所に必ず保存してください。
- 保証書は、必ず購入店名・購入日などの記入を確かめてお受け取りください。

安全にお使いいただくために

■表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 警告	人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。
 注意	人けがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



加齢等によって、この製品が合わなくなり危険となる場合があります。屋内の移動が困難になったり、屋外でも短距離の移動が困難になった場合には使用を中止すること。また、定期的に専門家等にこの製品が適切かどうかを確認してください。

!**警告**

急激な衝撃や過度の圧力をかけないこと

曲がる可能性があります。

一度曲がったパイプを絶対に修正しての使用はしないこと

座面に腰をかけるときは、必ずサイドストッパーをかけ、ブレーキが左右両輪にかかっていることを確認すること
また、傾斜地では腰をかけないこと



使用前に開閉ロック(フック)がかかっているか必ず確認すること ロックがかかっていないと折りたたまれ危険使用者が転倒し、けがの原因になります。



ハンドル以外のところを持って押さないこと

車体の故障・使用者の転倒の原因になります。



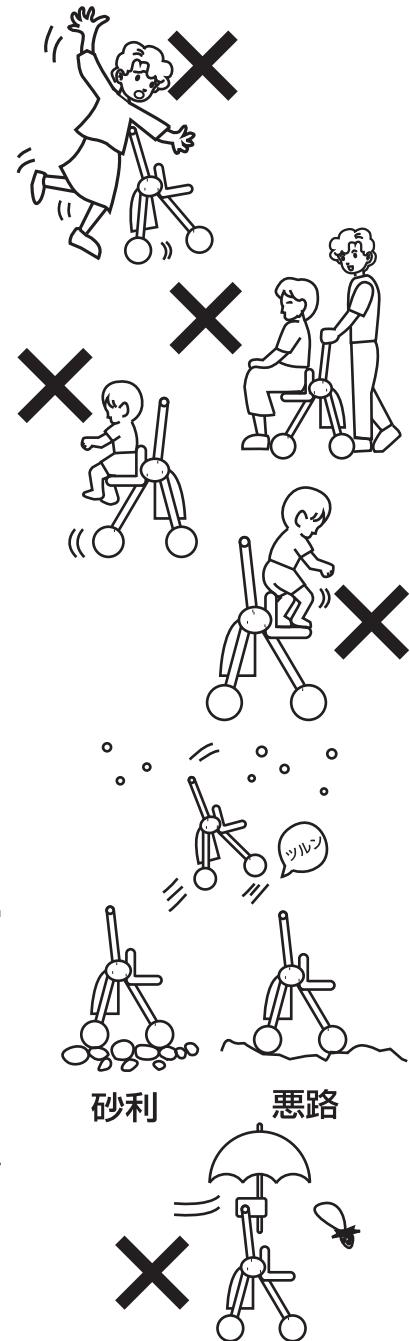
坂道等の使用はハンドブレーキ等を使用し、十分注意をすること 車体が転倒し、けがの原因になります。

踏み切りを渡るときは、できるだけ線路に対して直角に進んでください。 斜めに渡ると、車輪を取られたり、線路の溝に車輪がはさまったりする恐れがあります。





必ず守る 使用される際は、歩いて使用すること
走ったりフレームに足をかけて使用すると、
破損やけがの原因になります。



- 禁止**
- ハンドルに寄りかかったり、過度の荷重をかけないこと 車体が移動して使用者が転倒し、けがの原因になります。
 - 座面に浅く座らないこと また、座面以外のところには座らないこと
 - バッグ内に乳幼児を乗せたり、人を乗せたまま移動しないこと
 - 階段やエスカレーターで使用しないこと
 - バス・電車などの乗物内では腰をかけないこと
 - 車体で子供が遊ばないようにすること
 - 雨や雪、凍結時、滑りやすい所では使用しないこと
 - 改造、分解はしないこと
 - 砂利道、悪路での使用はしないこと
車体が転倒し、けがの原因になります。
 - 車体にかさ立てやS字フック・キイホルダーなどを付けないこと ブレーキが利かなくなったり強風であおられたりして大変危険です。



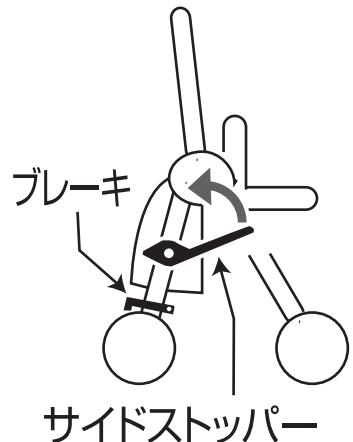
必ず守る 使用前は各部を点検し、特にハンドブレーキの左右両輪の性能について十分確認して使用すること

組立は操作を確実に行い、ハンドルグリップが固定されているか確認すること

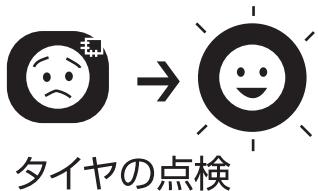
段差や溝などにつまずくと転倒する恐れがあります。また、段差を斜めに進入しないこと
段差の手前では必ず一旦止まり十分注意して慎重に段差を超えること



車体から離れる時は、必ずサイドストッパーをかけること 車体が勝手に動き出す恐れがあります。



タイヤ及びブレーキの磨耗がないかを保守・点検し必要に応じて調節及び交換等を行うこと



火の近くや高温になる場所での保管は避けること 故障、変形の原因になります。

必ず
守る

折りたたみ時は、前輪キャスターを直進方向に向けてください。曲がっているとたためません。

折りたたみ操作時、手や指等をはさまないよう注意すること

交通の頻繁な所、混雑している所、及び夜間での使用は十分注意すること

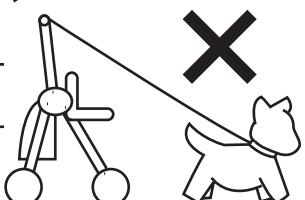
禁止

体重が75kgを超える方は使用しないこと

バッグ内に5kg(載荷重量)以上の荷物を載せないこと

サイドストッパーがかかった状態では押さないこと

ハンドルグリップとハンドブレーキの間に指を入れたまま、ブレーキをかけないこと

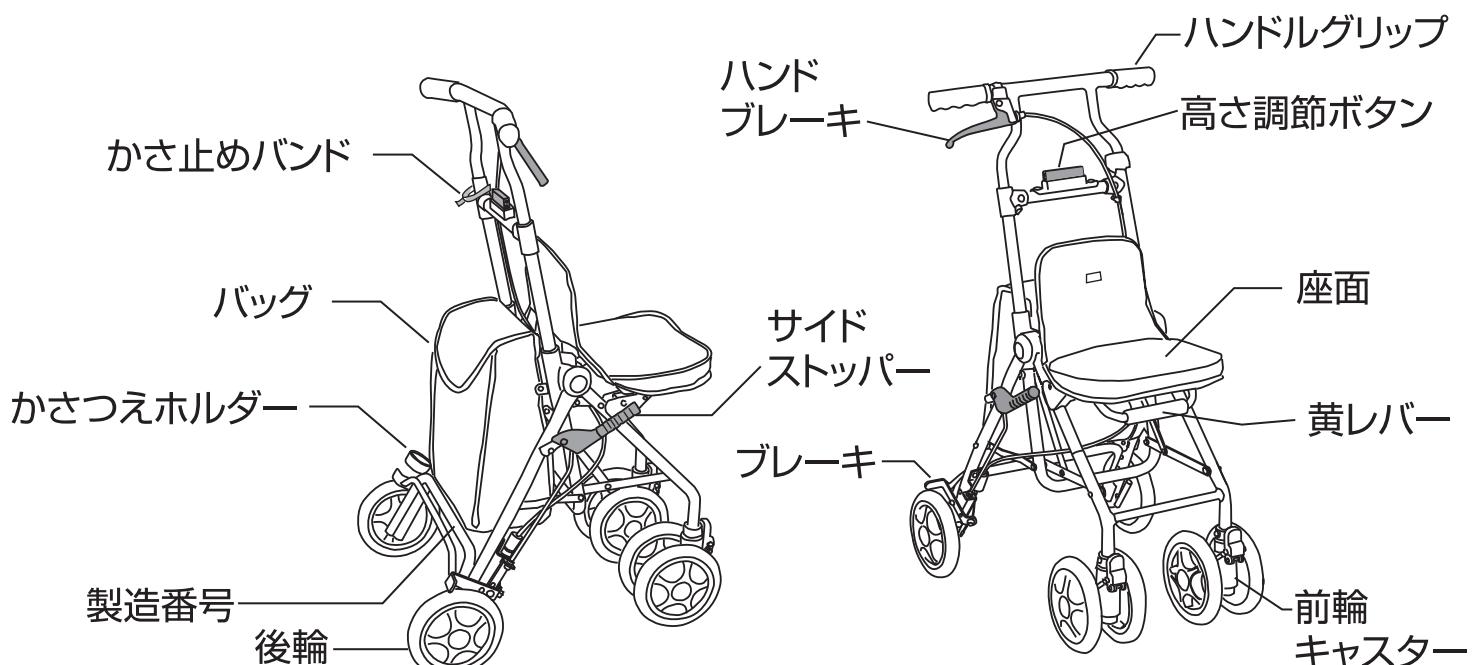


傘や杖等を片手に持ちながら使用しないこと

動物または、ペット等を車体につながないこと

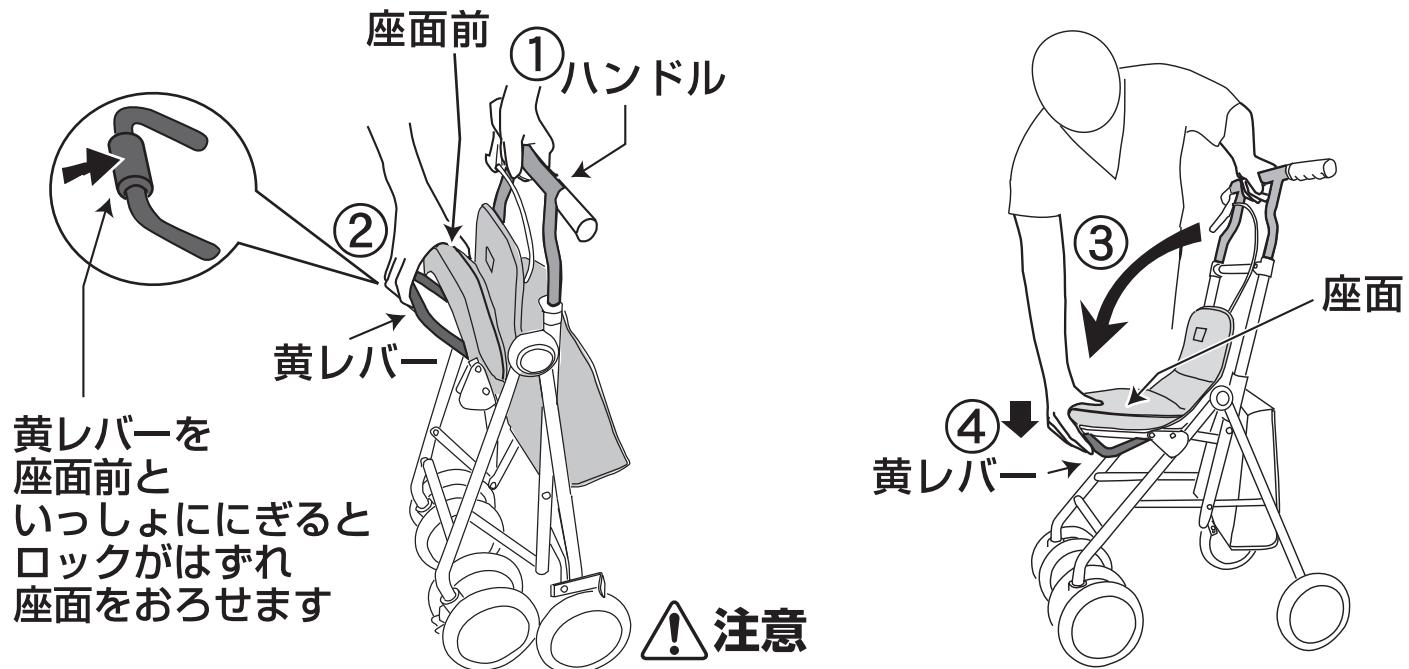
車体が転倒し、けがの原因になります。

雨ざらしにしないこと



車体の広げ方

- ①ハンドル中央部をにぎり
- ②座面前と黄レバーをいっしょに、にぎり(黄レバーを矢印の方へ)ながら
- ③座面をおろす。
- ④黄レバーから指を離し、座面をロックがかかるまで下向きに押さえる。

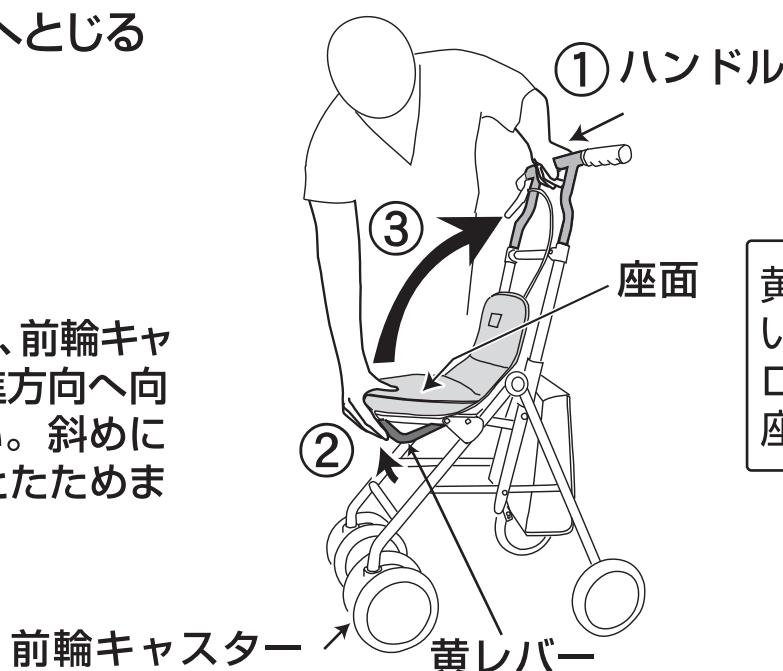


折りたたみ方

- ①ハンドル中央部をにぎり
- ②座面前と黄レバーをいっしょに、にぎり(黄レバーを矢印の方へ)ながら
- ③座面を上へとじる
(たたむ)

注意

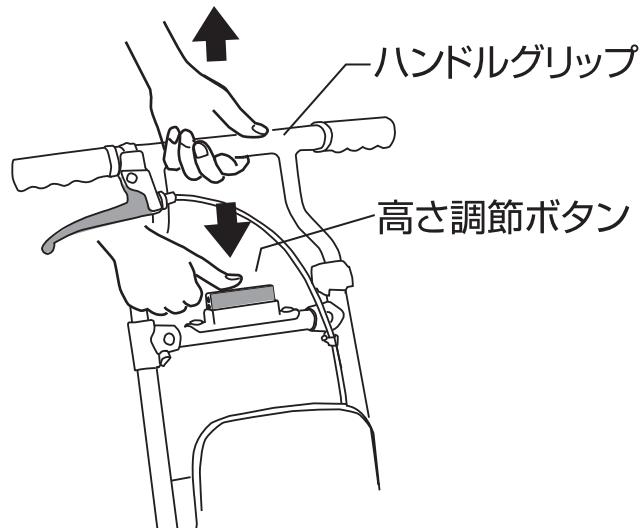
- ・折りたたみ時、前輪キャスターを直進方向へ向けてください。斜めに向いているとたためません。



黄レバーを座面前と
いっしょに、にぎると
ロックがはずれ
座面をたためます。

ハンドルの高さ調節

ハンドル高さ調節ボタンを押しながらハンドルをお好みの高さに合わせてください。(両側同じ高さにする事)

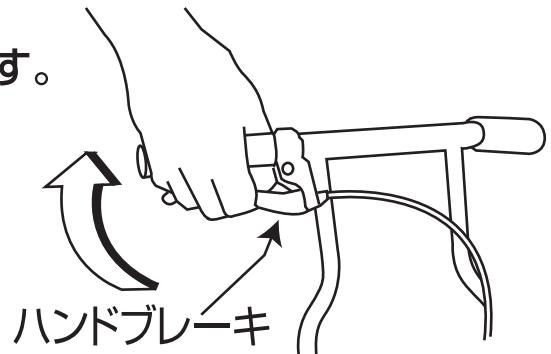


⚠ 注意 使用前にハンドルが確実に固定されているか、必ず確認すること。

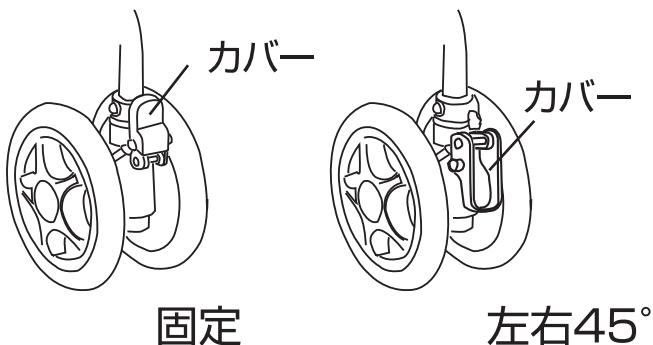
ブレーキのかけ方

ハンドブレーキを握るとブレーキが掛かります。
ハンドブレーキは左右どちらでも取り付けできます。

⚠ 注意 指をはさまないよう注意してください。



キャスターについて



前輪キャスター

カバーを上下して調節してください。

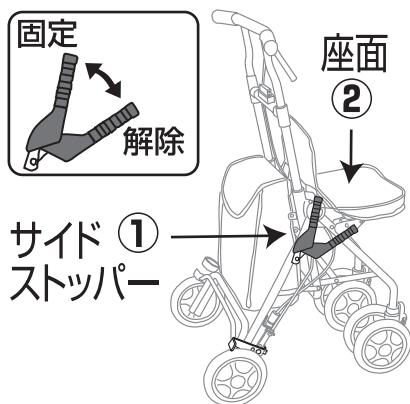
⚠ 注意

左右同じ位置にして下さい。

仕様

内 容		材 質
型 式	No.672	
車 体	ハンドル高さ調節可・ハンドブレーキ・サイドストッパー・折りたたみ式・2WAYキャスター	アルミパイプ・合成樹脂
質 量	4.2kg	
バッグ寸法	幅175奥行120高さ290mm	ポリエステル
積 載 量	5 kg	
製造番号	車体平鉄内に貼付け	
車体寸法	幅430奥行530高さ850～950mm	
品質保証期間	ご購入日より1年	

座面の使用方法とサイドストッパーのかけ方



座面に腰をかけるときは

- ①まずサイドストッパーをかけて、車体を動かさないようにする。

※サイドストッパーは、上げると固定、下げるとき解除します。

- ②座面の中央にゆっくりと座ってください。

！警告 座面に腰をかけるときには、必ずサイドストッパーをかけること
座面に人を座らせたまま押したりしないこと
傾斜地では座面を使用しないこと

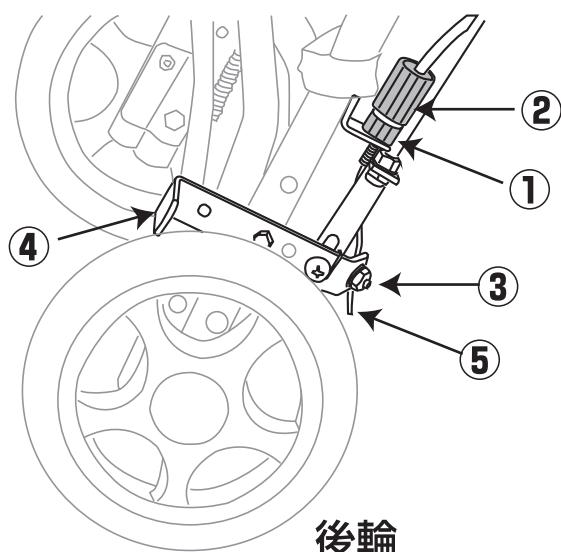
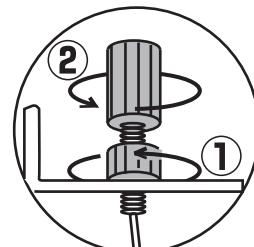
！注意 座面を踏み台代わりに使用しないこと
座面に浅く座ったり、強く寄りかかったりしないこと

ブレーキの調整

②ナットを ↗ 左に廻すとブレーキが掛かりやすくなります。 ハンドブレーキの調子をみながら良い時点で①ナットを ↘ 右に廻して締めてください。

上記調整でもブレーキが掛からない場合は、
③ナットをゆるめ④ブレーキ板を車輪に近づけて、⑤ワイヤーをゆるまない様に③ナットを締めてください。。

！注意 ④ブレーキ板と車輪のすき間をせまくしすぎると、操作が固くなったり、故障の原因になります。



保管のしかた

1. 本体や車輪についた泥などの汚れは、やわらかいブラシや布で拭いて落して下さい。
2. ひどい汚れは布に水や中性洗剤を薄めたものを含ませて、ぬぐった後、乾いた布でよく拭いて下さい。
3. 長時間サイドストッパーを掛けないで下さい。
4. 保管は直射日光を避け、雨ざらしにしないで下さい。
5. シンナー、ベンジンなどの揮発性の溶剤で手入れしないで下さい。

製品改良のため、仕様、外観は予告無しに変更することがありますのでご了承ください。

発売元 **Symbol** 須恵廣工業株式会社

〒547-0005 大阪市平野区加美西1-11-5
TEL(06) 6791-3686 FAX(06) 6791-3623